

NEWS RELEASE

消費者は米の情報も“味わっている”？！

食味評価と購買意欲を向上させる栽培情報の不思議な効果

- 有機栽培に関する情報提供により、同じ米でも食味評価が約 13%ポイント向上
- 生産者情報の開示により、再食意欲が約 12%ポイント増加
- 食にこだわりが強い消費者ほど、有機米への評価が厳しいという意外な発見
- 環境意識の高さは必ずしも有機米の評価に結びつかないことも判明

【概要】

三重大学大学院生物資源学研究科の関谷信人教授らの研究グループは、有機米に対する消費者の食味評価や購買意欲が栽培情報で向上することを明らかにしました。研究グループは、同一品種(三重 23 号)の有機米(有機肥料+無農薬)と慣行米(化学肥料や農薬を使用)を三重大学職員 211 名に試食して貰いました。その際に、参加者を無作為に 2 グループへ振り分け、一方のグループには目隠しで両米を食べ比べて貰い、他方のグループには栽培情報を開示して食べ比べて貰いました(ランダム化比較試験)。その結果、栽培情報の開示で食味評価が向上し、生産者情報の提供で「また食べてみたい」という意志が高まることが明らかになりました。また、一般的な予想とは異なり、食へのこだわりが強い消費者ほど有機米に対して慎重な評価を示すことも明らかになりました。これらの結果は、栽培技術や生産者情報を上手く活用することで、有機米の消費者需要を拡大できる可能性を示しています。本研究は 2024 年 11 月 19 日、国際学術誌 Sustainability に掲載されました。

【背景】

環境負荷を軽減し持続的な食料生産を達成する栽培技術として、有機栽培が注目されています。しかし、農業者を有機栽培へ誘導する政策が各国で施行されているものの、その栽培面積は依然として限定的であるのが現状です。政策誘導も大切ですが、根本的には消費者需要を喚起して市場を拡大させ、水稲有機栽培に対する農業者の意欲を後押しすることこそが重要です。

消費者は、その食品が有機栽培されたという情報を伝達されると、その有機食品に対する官能評価(味わい体験)を有意に向上

させることが報告されています。また、官能評価と購買意欲には強い関係があることも報告されています。

そこで研究グループは、有機栽培の情報やそれに取り組む生産者の情報を開示することで、有機米に対する消費者の官能評価が向上し、購買意欲の向上へつながるのではないかと考えました。



【研究内容】

研究グループは、三重大学職員211名を無作為に2グループへ振り分け、2つのランダム化比較試験を実施しました。

実験1:有機米(有機肥料+無農薬)vs 慣行米(化学肥料や農薬を使用)

グループ1:目隠しで2つのコメを比較

グループ2:栽培情報を知りながら2つのコメを比較

<主な発見>

- ①情報開示で、有機米の味を好む回答者の割合が31.8%から44.8%に上昇。
- ②情報開示で、有機米を再度食べたくなった回答者が16.4%から34.4%に上昇。

実験2:慣行米 vs 慣行米(全く同じコメを比較)

グループ1:目隠しで2つのコメを比較

グループ2:一方の慣行米にパッケージと生産者情報を付与し、他方には情報を付与せずに2つのコメを比較

<主な発見>

- ③情報付与で、食味評価に変化なし。
- ④情報付与で、再度食べたくなった回答者が17.3%から29.4%へ上昇。



統計解析:ロジットモデル+順序ロジットモデル

<主な発見>

- ⑤有機米の味を好む消費者は有意に有機米を再度食べたくなる
- ⑥意外にも、食へのこだわりが強い消費者ほど有機米を再度食べたいと思わない

以上の結果は、栽培方法や生産者に関する適切な情報を提供することで、有機米に対する消費者需要を高められることを示しています。また、食へのこだわりが必ずしも有機米の評価に直結しないという発見は、消費者コミュニケーションの新たな方向性を示唆しています。

【今後の展望】

この研究をさらに発展させ、有機米の価値をより効果的に消費者に伝える方法を探究し、持続可能な水稲生産技術の普及に貢献していきたいと考えています。

【論文情報】

掲載誌: Sustainability(<https://doi.org/10.3390/su162210099>)

掲載日: 2024年11月19日

論文タイトル: Shaping rice preferences: Effects of farming information, package design and consumer attributes

著者: Sekiya Nobuhito, Toru Nakajima, and Takeshi Tsuji

【謝辞】

本研究はJSPS 科研費 21K05795 の助成を受けたものです。

<本件に関するお問合せ>

三重大学大学院生物資源学研究科 教授 関谷信人

TEL: 059-231-9501 E-mail: sekiya@bio.mie-u.ac.jp